No－9　　2008.9.12

あたりまえのことを徹底的に

会社という集団生活の中では、皆が気分よく働けるよう、必要最低限の決め事や約束事があります。その多くは、誰もが“あたりまえ”と感じるほど簡単ですぐに理解できるものが大半です。

ところが、誰にでも判る“あたりまえ”のことがなかなかできない。一体、何故でしょうか…？それは“あたりまえ”のことを軽んじる風潮があるからです。

しかし、この“あたりまえ”のことを軽んじるような人は、得てして“あたりまえ”のことができず、**信頼**を失ってしまいます。

信頼というのは筋肉のようなもので、一日や一週間程度の努力ですぐに得られるようなものではありません。それこそ長い間、地道に積み重ねた末に得られるものです。“あたりまえ”のことを軽視せず、誰もができないくらい徹底して継続してみてください。結果として、大きな信頼が生まれるはずです。

その為、YAMADA の管理職は、一旦決めた**“約束事”**や**“決め事”**は、自らが率先して守る気概を持ってほしいと思います。

私の知人で、ある製造会社の工場長を務めた人が居ます。在任中、彼が意識的に毎日のように行ったのが、部下への挨拶です。

最初は、オハヨウ…オハヨウ！　と、工場の入り口から自分の席に移動する間に出会う全ての人に声をかけていったのです。挨拶一つで職場の雰囲気が徐々に変わることを実感した彼は、今度は、部下の顔と名前を覚えようと決心しました。それこそ毎朝のコースを変えながら自分の席まで歩いたり、時には、ふらりと作業現場の休憩所等に顔を出しながら、約 2000 名もの人たちの顔と名前が一致するまで努力を重ねました。その結果、顔を合わせるや否や“オ…山田君オハヨウ、今日は顔

Copyright © Yamada Manufacturing Co., Ltd. All Right Reserved

色がイイネ！”と、挨拶の前に氏名を付け加えると同時に、部下の状況に応じた一言を付け加えられるまでになりました。

彼曰く、工場長が工場で働く人の名前や顔を覚えるのは当たり前のこと！働いてくれている全ての人への挨拶もあたり前のこと！私はただ**“あたりまえ”**のことを徹底的にやっただけだ！と…

このような工場長の姿勢は、当然、課長や係長たちの姿勢変化にもつながり、工場全体がすこぶる明るく変身し、全体の生産性向上に大きく貢献することになりました。

しかしまあ～よくぞ2000名もの名前を覚えたものだと感心させられますが、工場長から声をかけられたうえに、自分の名前まで覚えてくれていると実感した部下の方は、更に感激し、更なる姿勢変化につながったことでしょう！このような上司の下では**心の健康（メンタルヘルス）**が大変すばらしい状態であったことや、在任中行われた従業員意識調査の結果は、その工場長への**信頼度が No−1** だったことは言うまでもありません。まさに“継続は力なり”です。

“信頼”

ワンポイントアドバイス

管理職は、一旦決めた“決め事”や“約束事”を愚直（ぐちょく）に守り、決して後戻りせずに部下との相互信頼を築きあげよう。
そして明るい明日の“YAMADA”をみんなで築いて行こう！

Copyright © Yamada Manufacturing Co., Ltd. All Right Reserved